

「読書会@札幌館」レポート

2011年度 第1回

日程：11月24日（木）16：20～17：50

場所：グループ視聴覚室（附属図書館閲覧室内3F）

推薦図書：「超訳ニーチェの言葉」

担当講師：佐山 圭司氏（北海道教育大学准教授）

第1回目の読書会が開催！

平成23年11月24日、附属図書館札幌館で初めての読書会が開催されました。

今年度の目標「読書会を開催しよう！」は、やはり何事も初めて、というのが当初の大きな壁でした。

講師の方やテーマ、課題図書も決まらず、時間が過ぎていくばかり。

迷える図書館職員が最後の希望を懸けて、ご相談したのが佐山先生。課題図書がベストセラー「超訳ニーチェの言葉」、これでドイツ哲学がご専門の佐山圭司先生が講師となつてくだされば、何とかなるかもしれないと、こちらの必死のお願い！に、ニコニコと快諾してくださった佐山先生。暗いトンネルの彼方にひとすじの光！天にも昇れるお猿の気持ちがわかったような気がしました。

その後は、参加者も順調に集まり（これも佐山先生のおかげ！）、定員の15人を越えそうな人気ぶり。開催日10日前には用意した課題図書もなくなり、満員御礼でお断りをする勢いとなりました。

さて、その読書会、当日は…

最初、「ボクは何にもしなくていいんでしょう？」なんて職員をリラックスさせる術を心得ている佐山先生。

実際は、開始当初から進行もボケもつつこみもみんな一人で何役もこなしつつ、課題図書の感想を参加者からどんどん引き出していきます。

課題図書：

「超訳ニーチェの言葉」
フリードリヒ・ニーチェ[著]、
白取春彦編訳



100万部突破！
人生を最高に旅せよ！
Discover

今回の読書会の講師、佐山です。哲学者ニーチェの言葉っておもしろいでしょ！



どうしてこの言葉が気に入ったかというと…

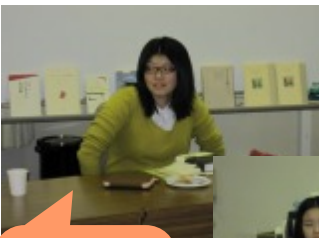


知らない人もいるけど、なんとなく話せちゃう

まだまだいろんな人の意見や感想がでてきそう！という雰囲気が続いているうちに時間になり、第一回目の読書会は盛況のうちに終了。終始笑顔の佐山先生は、参加者を和ませながらもりげなく解説を交えて進行してくださって、本当にお疲れ様でした。

ニーチェを読みながらこんなに楽しく意見交換できるなんて、読書会っておもしろいものだったんですね！もちろん、今回限りではもったいないので、次回も是非企画したいと思います。

どうぞ期待！



いろいろな人の意見が聞けて、おもしろいな～



人によって、全然違う言葉が気に入ったりするのね…



次回の読書会！

1月～2月に「図書館学生サポーター」企画の読書会を開催する予定です。お楽しみに！